

# 桜中だより

長崎市立  
桜馬場中学校  
校長 大塚 潤

## 卒業式の意義・目的を振り返り！

### 卒業式が義務教育最後の授業だ

いよいよ第75回長崎市立桜馬場中学校卒業証書授与式が、14日(木)に迫りました。  
卒業式の目的・意義は次のとおりです。  
【卒業生にとって】  
1 義務教育の九年を修

了したという社会的公認の式で、人生における大きな節目の式。  
2 中学3年間を終え、高等学校または実社会に立つ出発記念の日。  
3 今日まで自分を慈しみ、育ててくれた父母・先生社会への感謝の日。

【在校生にとって】  
1 先輩の卒業を喜び、みんなで門出をお祝いする日。  
2 先輩の業績に感謝し、後継者としての自覚を新たにす日。  
この中で私は特に、「感



卒業式の準備も進んでいます

謝の目標をしっかりと覚えてもらいたい。君たちの卒業式は、これまで育ててくれた「両親やご家族、地域の方々、先生」とつての卒業式でもあるわけです。卒業式に君たちが流す涙と、「両親が流す涙には共通した意味が含まれています。

だから、大きな声で「はい」と返事をしてください。大きな声で歌ってください。自分のために、そして「両親」に、これまでありがとう「これからよろしくね」という感謝の気持ちを込めて……卒業式が、義務教育最後の「授業」です。

### お知らせとお願い

1 卒業生の皆さんは、3月31日までは、桜馬場中学校の生徒です。「14日に卒業したからもう自分は自由だ」と言わんばかりに過ちを犯して、せつかく自分の力で選んだ自分の進路を自分の手で踏みにじつてしまうことがないように、規則正しい生活を心がけ、新しい生活の準備をしてください。  
中学卒業はあくまでも、

人生のひとつの通過点に過ぎません。

2 22日(金)の11時40分から離任式が行われます。お世話になった先生に一言お礼を言いたいという生徒は、11時10分〜11時20分の間に、体育館に集合してください。なお、もちろん、服装・身なりはきちんとするように。スマホの持ち込みも禁止です。

### 学校評価

#### パート2

#### 「改善が必要な面」

- ⑫業務の改善  
「校務の縮減、効率化等、業務の改善を推進している教職員」43%
- ⑬いじめ防止対策  
「学校はいじめ防止のための対策をとっている」生徒87%、保護者76%、教職員92%
- ⑭学習指導  
「家庭学習の習慣が身に付いている」生徒84%、保護者68%、教職員70%
- ⑮読書  
「生徒は本に親しんでいます」

る生徒62%、保護者50%、教職員68%

#### 【考察】

「業務の改善」については、行事の精選や教育課程の見直し・効率化を具体的に進める必要がある。「いじめ防止対策」については、学校と保護者間での差が見られた。信頼関係構築をより進めていくことで、この差をなくしたい。PTAへの参加を促したり、保護者との懇談を積極的に行うなど、情報交換に努める。「家庭学習の習慣化」については、毎年課題として挙がっている。Chromebookの活用を推進し、生徒の主体性を向上させる取組を生徒とともに検討する。

### 学校評議員会開催

「たくさんのご意見をいただきました。」

学校評価アンケートの結果を受け、2月18日(月)17時から学校評議員会を

開催しました。

学校評議員会とは、保護者や地域住民、学識経験者等を学校評議員に委嘱し、学校運営や教育活動について多様な意見をいただき、改善に生かすとともに、学校支援の輪を拡大していくものです。今年度の学校評議員は、橋本剛委員、帯屋由美子委員、大倉聡委員、大串雄市委員、山崎直人委員です。

今回は、この1年間、日ごろから学校の教育活動や子どもたちの活動の様子をみていただいていた評議員の方々から、学校運営や教育活動の在り方についてご意見をいただきました。

まず、前述の学校評価アンケートの結果報告や今年度の子どもの学習状況・教育活動の報告を行いました。その後、各評議員からご意見(評価)をいただきました。主なご意見は次のとおりです。  
〈学校評議員からのご意見〉

- 子どもたちは、明るくのびのびと学んでいます。
- 私が校区内をランニングしていると、生徒たち



学校保健委員会の一コマ

がよく声をかけてくれる。地域の中で、互いに顔が分かる関係となっていて、ことがうれしい。

○合唱コンクールに参加した。本番に強く、態度も立派だった。幼少期からの子どもたちの成長を大きく感じた。

○PTA講演会は、心に響いた。時間、人とのつながりで生きていくことに共感したのではないだろうか。

○地域との交流を深め、生徒と先生と保護者と、三者で協力していきたい。保護者の参画が少ないことから、関心を高め、小生や地域ともかかわりをもちたい。

▼「業務の改善」では、教職員の肯定的回答率の43%はとても低い。教職員が心身ともに健康を保ち、生徒への指導にあたることに教育の質の向上につながる。今後の取組に期待したい。

▼「情報提供」では、三者ともに高水準の結果であるが、学校発信を受けて、保護者からのフィードバックがもう少し必要ではないか。

▼「学校評価アンケート」の質問内容(読書の項目等)についての表現がふさわしいのか、検討が必要ではないか。

現在過密なスケジュールとなつてきているため、不易と流行を大切にしながら、どんどん進めていく。

・保護者からのフィードバックについては、対面で話ができる学級・学年PTAや各種行事への出席を促すために、年間の行事予定を早めに提示する。

・質問内容については、学校の質問の意図が伝わるよう文字表現を見直す。

これらのご意見を来年度の学校運営に活かしていきたいと考えております。

学校評議員のみならず、お忙しい中、大変ありがとうございました。

先週3月7日(木)今年度第2回学校保健委員会が開催された。昨年度第2回学校保健委員会にて、桜中生徒の健康課題について今後どのように改善してへべきかと協議した結果、今年度に向け、「どうする桜中〜?」の種が蒔かれた。

そして、今年が過ぎようとし、まさにその芽が出始め、花が咲こうとしている。桜中生の健康課題は次の2点。

①早寝早起きなどの生活習慣の乱れ(特に睡眠)。  
②望ましいメディアの使用の在り方

この2点が主にあげられた。そこで今年度は、昨年度から引き続き、生活リズムチェックの実施と、新たに「桜中メディアコントロール」(メディアコン)大作戦がスタートした。

メディアコン大作戦は、「桜中メディアコントロール」「ファミリーメディアコントロール」「桜中メディアコントロール」の3つから成り立っている。特に「桜中メディアコン」

### 生徒が主役の学校保健委員会

## 未知へ

木村信子

わたしが響いている  
透明な殻の中で響いている  
ありったけ響いている  
外はもうすぐ春らしい

わたしは響いている  
痛いほど響いている  
あふれるほど響いている  
もうすぐわたしは割れるのだ

わたしは響いている  
おもてへこだまして響いている  
まだ見たこともない山へ  
胸をときめかせて  
わたしが響いている

卒業生のみんな、響いているみんな  
もうすぐ割れるみんな  
元気で新しい未知を歩いてください

養護教諭 保健主事  
柴田 由季

ルは生徒たち自身が守れるものを、生徒たちで出し合つて決めた桜中オリジナルのものである。ルールを決める際にも、教師が提示するのではなく、生徒が自主的に考え、前人前へと進んで動く生徒の姿に頭が下がる思いだった。

そして、この一年間、学校保健委員会を通じて、多くの学びと感動を得ていることがある。それは、生徒が出席し、自分たちの課題と改善策を発表する場があるということだ。このような「活気と笑顔にあふれる学校保健委員会を私自身経験したことがなかったので、生徒が出席することで場の雰囲気も和むと同時に、生徒が自分たちの健康につ

いて自ら考え、まとめを発表する姿を見て、後輩にしっかりとバトンが受け継がれているように感じた。

また、新旧保体部長と評価委員および新旧執行部の役員生徒の知恵とアイデアの豊富さと機敏な動きに随分と助けられ、そして、彼らとともに桜中生徒の健康課題を見つけ、改善策を考えて実践できたことは私自身の大きな財産となった。

改めて、迫中さん、浦山君、片山君、久保田君、平戸さん、後田君、蔭山さん、徳永君、森川さん、本当にありがとうございました。

メディアコンの感想には「家族との会話が増えた」「学校の話が聞けた」などが多く、親子の「コミュニケーション」

「どうする桜中〜?」からの次なる目標は「ステップアップ桜中!」。今後も桜中全体に健康の輪が広がるよう、生徒とともに考え、生徒とともに学び続け、健康教育を通して、同僚と保護者の皆さまと地域の皆様ともつながり続けていくことができるように日々努力していきたい。

「ご出席してくださった皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。」